JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永 均

収穫に励む府川さんとこももちゃん

シャッターチャンス

甘～い「極早生桃」出荷真っ盛り

上地区で、極早生種の桃「ちよひめ」と「ひめこなつ」の出荷が最盛を迎えた。栽培するのは、地元農家らで組織する菖蒲集落組合と菖蒲地区農村景観保存会。じばさんずなどで販売し、出荷は7月中旬まで続く見込みだ。

20㌃の園で栽培する府川金夫さんは、孫のこももちゃんらと協力して剪定（せんてい）や摘果などの栽培管理を行い、甘さの乗った桃に仕上げている。

府川さんは「メンバーや家族と共に、良質な桃作りに励んでいく」と意気込みを語った。

貯金キャンペーンを実施中

ちょリスグッズなどをプレゼント

現在、夏期特別貯蓄運動を実施しています。7月31日（火）まで、新規の自動継続定期貯金期間1年または3年が店頭表示金利の6倍で開設できます。

通帳式で新規定期貯金を開設された方もしくは新規定期貯金30万円以上の預入予約をされた方に「ちょリスグッズ」のオリジナルグッズなどを進呈。さらに、30万円以上の新規定期貯金を開設された方を対象に、抽選で「はだの丹沢苺（いちご）・梨サイダー」をプレゼントします。

詳しくは各支所・支店、または信用課まで。☎81－7716

新たな振興作物定着へ

ラッキョウを初出荷

ラッキョウの品質を確認する農家とTAC

ＪＡからラッキョウの栽培委託を受けた農家4人が11、12の両日、ＪＡに初出荷した。ＪＡが第三次地域振興作物に位置付けている品目の一つ。ＪＡは集荷した合計557㌔を、ＪＡ全農かながわ中央ベジフルセンターを通じ、漬物を生産する㈱丸イ食品に出荷した。

ラッキョウの栽培は、同社からの依頼をきっかけにスタート。現在は千村と堀山下の農家4人が合計4㌃で栽培している。同社が種子を提供し、営農課のＴＡＣ（地域農業の担い手に出向くＪＡ担当者）らが栽培を指導するなど、連携して生産を後押ししてきた。

出荷者の一人は「ラッキョウは他の品目より栽培管理が比較的簡単。ＪＡや業者のサポートがあるのもうれしい」と話している。

今後、ＪＡはより多くの農家に栽培を呼び掛け、来年度は作付面積を15㌃に拡大し、出荷量は2・5㌧に増やす方針だ。

園児が野菜苗植え

食と農の大切さ学ぶ

ＴＡＣの指導でナスの苗を植える園児

平沢の「南秦野保育園」と渋沢の「虹と風保育園」の園児約60人は5月30日、じばさんず敷地内にある野菜農園「じばのうえん」で夏野菜の定植を体験した。

体験には、同店の北原慶徳店長や営農課のＴＡＣが協力。園児は、土を掘る深さや定植後に水を掛けることなどを教わりながら、ナスやスイカなど4品種合計55本の苗を植え付けた。今後、栽培した野菜は給食で味わう予定だ。

「じばのうえん」では、これまでに多くの園児が農作業を体験してきた。体験を通じて、苦手だった野菜が好きになったり、家族と来店して生育を見守るようになったりする園児も多いという。

両園の小島昇理事長・園長は「園児が農作業を経験する機会が少なくなっているので、ＪＡが毎年協力してくれてとてもありがたい」と感謝を述べた。

今月の特集 4～5面

「じんじん～其の二～」上映会開催

ＪＡはだのは、組合員や地域住民に秦野の魅力を再確認してもらおうと、秦野を舞台にした映画「じんじん～其の二～」の上映会を文化会館で開く。

メール情報配信サービス

QRコードで登録を

ＪＡはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードを読み取り、簡単な手続きを進めるだけで登録できます。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

収穫シーズン到来　体験イベントで農業PR

さまざまな品目が収穫シーズンを迎え、はだの都市農業支援センターや青年部などが市内各地で観光農業イベントを開催。県内外から訪れる多くの参加者に同市の農業の魅力をＰＲしている。

農園巡りハイク

品目さまざま収穫体験

東支所が実施している「混雑予報」

「混雑予報」で待ち時間短縮

CS向上に店舗一丸

2日には、はだの都市農業支援センターが上地区で「農園ハイク」を開いた。同地区の豊かな自然の中をハイキングして各農園を回り、農作物の収穫を体験できるもの。県内外から91組241人が参加した。

今回は10農園が体験を受け入れ、バラや桃など19品目を用意した。各農園では、農家や東海大学の学生ボランティアが参加者に収穫方法などを指導。収穫した作物は農園が預かり、ゴールまで届けることで、参加者が身軽にハイキングを楽しめるよう工夫した。

参加者は農園マップをもとに、希望する品目の農園までハイキング。おすすめの調理方法を尋ねるなど、地元農家らと交流しながら収穫を体験した。

横浜市から家族で参加した古根村博和さんは「子どもにとって、いろいろな種類の野菜を自分で収穫することは貴重な経験になる。家族で楽しみながらハイキングができるので、今後も参加したい」と笑顔で話した。

ダイコンを収穫する参加者

JAはだのは、JAバンク神奈川が推進する「CS向上に向けた取り組み」に積極的な取り組みを見せている。JA自己改革の一環と位置付け、支所・支店で月に一度ミーティングを開くなどして、サービスの向上に力を注ぎ、利用しやすい店舗づくりに努めている。

東支所では受付の番号札の発券枚数をもとに統計を取り、翌月の来店状況を分析、予想する「混雑予報」を実施。その結果をカレンダーに落とし込み記帳台や支所が発行する「かわら版」で周知することで、混雑緩和や待ち時間の短縮につなげている。

1年間取り組んできた結果、大型連休前後や月末、年金支給日などの繁忙日の客足が再確認できた。支所ミーティングで半年ごとの集計結果を確認し、混雑緩和に向けた方策の検討会も開いている。

JAでは他にも、事務所周辺の美化清掃や職員紹介のPOPの設置、手交型詐欺への注意喚起などにも取り組む。

信用課の清水哲也課長は「地域から必要とされる店舗を目指すためにも、顧客満足度（CS）の向上に一丸となって取り組んでいきたい」と話している。

親子ジャガ掘り

青年部がユースマルシェ

17日には、青年部が堀山下で「親子でジャガイモ収穫体験」を開催。同部が観光農業振興や地域との交流を目的に取り組む体験型イベント「ユースマルシェ」の一環。市内の親子連れ33組約100人が参加した。

参加者は、部員から収穫方法の説明を受けた後、「メークイン」と「キタアカリ」を7株ずつ収穫。株を引き抜いたり、土を掘り起こしたりするなど、親子で協力して作業を進めた。

親子でジャガイモの収穫を満喫

希望者には、エダマメの収穫体験も用意。受付では新鮮なトマトやレタスなどを即売した他、部員が飼育している羊との触れ合いコーナーも設けるなど、部員が取り組んでいる農業も参加者にＰＲした。

同部は年間を通じ、ミニトマトの収穫や茶の手もみなどをテーマにしたさまざまイベントを開いている。部員の杉本学さんは「徐々に参加者が増え、手応えを感じている。今後も定期的に開催し、多くの人に秦野の農業の魅力を伝えていきたい」と意気込む。

接近！おじゃします 352

地域や直売所盛り上げる

養毛の湯山（ゆやま）　忠夫（ただお）さん（70）

東地区農産物直売研究会の会長に新たに就任した養毛の湯山忠夫さんは、杉やヒノキなどの苗木を作る農家に生まれ育った。中学校を卒業後、印画紙を製造する会社に勤めながら定時制の高校に通学し、休日は農業に励むなど、忙しい毎日を過ごした。

47年間務めた会社を定年退職した後は、農業を本格的にスタート。現在、合計80㌃の圃場（ほじょう）で米の他、ニンジンやキュウリ、キャベツなど年間約20品目を栽培している。「妥協せず品質の良いものを消費者に提供したい」と、有機肥料を中心に使って栽培し、収穫後は田原ふるさと公園内にある同研究会の直売所などに出荷する。予約が入ったり、指名買いされたりするなど毎回好評で、来店者からの反響がやりがいになっている。

今年5月までは、9年にわたってJAの理事を務め、JA運営に尽力した。現在は、野生鳥獣による農産物被害や住民の高齢化などの課題を抱える同地区を盛り上げようと、棚田や古民家「緑水庵」を活用したイベントの開催などに力を注ぐ。同研究会の活性化にも意欲的で「これから直売所をもっとPRしていきたい」と力を込める。

湯山さんは「代々受け継いできた農地を守ることはもちろん、生産組合の視察などの地域のイベントにも積極的に参加し、これからも充実した生活を送っていきたい」と笑顔を見せた。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに？？」

組合員の健康をサポート

「ＪＡ健康寿命100歳プロジェクト」って言葉を聞いたんだけど、どんな意味なの？教えて、やえのちゃん！

ぴーなマン

組合員やその家族に、身も心も元気に過ごせる「健康寿命」を延ばしてもらうことを目的に取り組んでいるものよ。「運動」「食事」「健診・介護等」の三つの活動をメインに、さらに「ゆとり」と「いきがい」の活動を加えて、いろいろな支援をすることなの。

やえのちゃん

ＪＡはだのでは、さまざまなスポーツ大会を開いたり、人間ドックや生活習慣病健診などの受診を呼び掛けたりしているの。他にも、健康福祉大会などを開いて、組合員の健康に対する意識を高めているわ。

みんなの健康のためにいろいろなサポートをしているんだね。教えてくれてありがとう、やえのちゃん！

ぴーなマン

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

秦野の魅力を再確認

じんじん～其の二～
上映会を乞うご期待

JAはだのは8月25日、文化会館で秦野を舞台にした映画「じんじん～其の二～」の上映会を開く。組合員や地域の人々に、自然あふれる秦野の魅力を再確認してもらおうと企画した。映画の制作には、JAも協賛している。

映画の反響
- 地元の風景が輝いて見える。
- 先祖から自分そして未来につながる大切さを学んだ。
- 笑いあり涙あり、温かく素敵な映画。
- 映画を見終わったら「秦野」をもっと自慢したくなった。

じばさんずでの撮影シーン

ロケ地にじばさんずも

「じんじん～其の二～」は、北海道剣淵町を舞台にした映画「じんじん」の続編で、俳優の大地康雄さんが企画・主演し、監督は市内在住の山田大樹さんが務めた。豊かな自然とさまざまな登場人物が織りなす物語で、人と人とのつながりの大切さや自然の尊さなどを描いている。

撮影は、2016年6月末から1か月間、市内各地で行われた。蓑毛にある大日堂や四十八瀬川周辺、県道70号沿いの森林など、さまざまな場所が登場する。秦野市の一大イベントである「たばこ祭」も再現され、多くの市民がエキストラとして出演した。

映画には、じばさんずも登場。主人公・立石銀三郎（大地康雄）が物語のキーマン・山下哲生（福士誠治）と出会う場所だ。店内では、山口政雄組合長が関根薫（鶴田真由）と会話するシーンも収録された。

映　画
「じんじん～其の二～」上映会
2018年8月25日（土）
午後1時開場
秦野市文化会館大ホール
入場無料

詳しくは本紙折り込みのちらしまたは
JAはだのホームページをご覧ください。

おりのメンテナンス状況を確認する農家ら

鳥獣被害対策に地域が連携

捕獲おり定期巡回で検討会
適正管理呼び掛け

都市農業支援センター

はだの都市農業支援センターは、秦野市内の捕獲おりを定期的に巡回する現地検討会を開き、鹿やイノシシによる農作物への被害軽減に努めている。行政や地元猟友会と共に管理状況を確認して、おりを管理する農家にメンテナンス方法などを指導。効果的な活用方法を伝えるとともに、対策への意識向上につなげている。

今期は5月15、17、24の3日間、市内7地区で開催。同センター職員らが、おりの作動状況をチェックしながら、メンテナンスの徹底を呼び掛けた。周囲に残っている動物の足跡なども調べ、適切な設置場所や効果の高い餌の種類を再検討した。

ニンニク出荷今年も
じばさんずなどで人気

ニンニクの出荷作業に励む藤田さん

上地区で、鳥獣被害を受けにくい作物として導入したニンニクの出荷が、今年も始まった。鹿やイノシシによる食害もなく、品質は上々。今年も出荷先のじばさんずなどで人気を呼んでいる。

栽培するのは、地元農家で構成する上地区ニンニク研究会。JAが開く定期的な栽培講習会や畑の巡回などを通じ、栽培技術の向上に取り組んでいる。

三廻部の藤田譲さんは、3・6㌶の畑で栽培。今年は約160㌔を収穫し、現在は乾燥や出荷の作業に励んでいる。藤田さんは「これからも栽培技術を高めて、さらに良質なニンニクを生産していきたい」と意気込む。

観光農業や食農教育紹介
JAオリジナルムービーも上映

大地さんに農業への思いを語る山口組合長

上映会当日は、来場者に秦野の農業やJAへの理解を深めてもらおうと、大地さんの協力を得て撮影したJAはだのオリジナルムービーを上映する。内容は、JAはだのが取り組んでいる観光農業や食農教育、直売所、体験型農園などの現場を大地さんが訪ね、農家らと交流するもの。

撮影は2日、多数の農家らの協力を得て、市内各地で実施した。市内3～6年生を対象に開く「ちゃぐりんスクール」では、大地さんが児童と一緒にイチゴ狩りを楽しみながら、児童に参加した理由や体験の感想などをインタビューした。

他にも、上地区の農家らが取り組む「上地区農園ハイク」や、青年部がじばさんずで毎月実施している対面販売「ユースマルシェ」に参加した様子、市内で米や麦、大豆などを栽培して6次産業化に励む菩提の小泉達雄さん・貴寛さん親子を尋ねた様子などを撮影した。

さらに、山口政雄組合長と大地さんの対談も実現。大地さんが体験を通して感じたことを話し、それに対して山口組合長が農業への思いを語った。

大地さんは「撮影を通して、農業に一生懸命励む農家の思いを知ることができた。人々のつながりの強さを感じ、秦野に住みたくなった」と笑顔を見せた。

児童とイチゴ狩りを楽しむ大地さん

米作りで食と農学んで
児童が田植えに挑戦

東小学校の5年生88人が12日、東田原の水田で田植えに挑戦した。同校と東地区社会福祉協議会が連携して開く「あずまの里・稲づくり体験教室」の一環。米作り体験を通して農業と食の大切さを学ぶことが狙い。

児童は世話人を務める大津次男さんら地元農家14人の協力の下、苗の根元を持って垂直に植えることなどを教わり、等間隔に植え付けた。

今後、児童が放課後や夏休みに草取りなどの世話をする。収穫後は給食で食べる他、弁当にして一人暮らしの高齢者に配布し、地域福祉に役立てていく。

大津さんは「自分たちが一生懸命世話をしたものを収穫して食べることで、農業と食のつながりを学んでほしい」と話した。

地元農家の指導で田植えをする児童

こんにゃくを振る舞いPR
農家が試食会

こんにゃく料理を紹介する古谷さん㊨

菩提の古谷とみ子さんは5月29日、じばさんずで自身が出荷しているこんにゃくの試食会を開いた。同店が毎週火曜に実施している「試食の日」を利用したもので、こんにゃくを使った料理などを振る舞いながらPRに励んだ。

古谷さんが用意したのは、こんにゃくの天ぷらと煮物、大葉やトウガラシを練り込んだ刺し身こんにゃくの4品。来店者に試食を促し、交流を深めながら調理方法などを紹介した。古谷さんが作るこんにゃくは、常時20パックほど売れる人気商品だが、当日は110パックを売り上げ、来店者から好評を博した。

古谷さんは「こんにゃくのおいしさを直接PRする良い機会になった。消費者の生の声も励みになったので、今後も頑張って出荷していきたい」と笑顔で話した。

原口さんが優勝
グラウンドゴルフ大会

JAはだのは5月23日、なでしこ運動広場で第13回JAはだのグラウンドゴルフ大会を開いた。スポーツを通じた組合員相互の交流と健康増進を目的に毎年開いているもので、今年は109人が参加した。

参加者は16ホールを5、6人一組で回り、交流を深めながらプレーした。優勝したのは、名古木の原口守さん。その他、20人がホールインワン賞を獲得し、5人が高齢者上位に贈る「元気で賞」を受賞した。

交流を深めながらプレー

発見 頑張り屋さん No.422

花で地域を明るく

本町の一加藤　加藤昇さん（51）　輝雄さん（78）

本町で㈲加藤生花店を営む加藤昇さん。父・輝雄さんが1957年に立ち上げた同店を2004年に引き継ぎ、現在は代表取締役を務めている。同店では、商店街に人を集めようと、季節の花を植え付けたプランターを店の前の通りに置くなど、地域活性化にも力を入れている。

――仕事内容は？

花の仕入れが主な担当です。家族で店を切り盛りしているので、臨機応変に接客なども対応しています。仕入れは、お客さまに長く花を楽しんでもらえるように鮮度を一番に考えています。また秦野産をメインに仕入れ、常に50種類以上の花を販売しています。

――客層は？

なじみのお客さまが多いです。また、葬儀場やホテルなど法人関係の受注もあります。最近はペットの葬儀に花を使うことが増えてきたので、さまざまな用途に対応できるよう、柔軟な考えを持って接していきたいと思っています。

――心掛けていることは？

毎日の花の手入れは欠かせません。傷んだ葉を取り除くことなど毎日手を掛け、最高の状態でお客さまの手に渡るように心掛けています。

――やりがいは？

お客さまから感謝の言葉をいただいた時です。朝早くから夜遅くまで仕事が続くので大変ですが、お客さまの笑顔のために頑張っています。

――今後の展望は？

お客さまとのつながりを大切に、これからも家族で力を合わせて店を続けていきたいです。また、今後も季節の花で店の前の通りを明るくし、地域を盛り上げていければと思っています。

梅の季節到来
出来上々　出荷ピークに

出荷に向けて梅を選果

JAはだの管内で、梅の出荷がピークを迎えた。じばさんずは連日、良質な梅を買い求める多くの来店者でにぎわっている。

北矢名の恩蔵正一さんも出荷者の一人。一般的に秋に行う剪定（せんてい）を春先から始め、日光の入り方を早期に調整することで、色づきの良い梅に仕上げている。安全・安心な梅の生産にもこだわり、農薬の散布は一般的な回数より少ない3回に抑えている。こうして丹精して育てた梅には多くのリピーターが付き、毎年人気を呼んでいる。

4日には、本所で「南高」約800㌔を選果し、同店などに出荷した。恩蔵さんは「今年の梅も上々の出来。自慢の梅をぜひ多くの人に味わってもらいたい」と笑顔で話した。

長寿者に記念品贈呈
いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

88歳（米寿）
▽大根地区＝中里キミ（鶴巻）佐藤長蔵（鶴巻）
▽南地区＝草山イネ（平沢）

77歳（喜寿）
▽大根地区＝相原ミヨ子（鶴巻北）青柳秀次（鶴巻南）佐藤恭仁子（南矢名）
▽本町地区＝川口武春（桜町）
▽東地区＝小泉勉（寺山）小嶋浩義（寺山）井上宣安（名古木）
▽南地区＝笠井靖子（南が丘）小泉巽（今泉）
▽北地区＝吉岡恵美子（戸川）佐藤七枝（戸川）

※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。

実入りが良く高品質
小麦の収穫ピーク
“ブランド化”に意欲

大型コンバインで小麦を収穫

秦野小麦出荷組合による収穫作業が6月中旬、ピークを迎えた。今年は、栽培中に降雨が少なく小麦の生育が順調に進んだことから、例年より1週間ほど早く収穫を開始。JAはだのには29日と7月11日に出荷する予定だ。

学校給食や業者に出荷

同組合は地元農家8人と1団体で構成し、合計7・5㌶で栽培する。農業生産工程管理（GAP）や成分分析などを導入し、良質で安全・安心な小麦を生産。JAを通じ、学校給食に供給する他、県内の製パン業者などに出荷している。

同組合の組合長を務める農業生産法人㈱大地の小泉貴寛さんは、5・8㌶の畑で製パン適性の高い「ゆめかおり」を栽培。大型コンバインを駆使し、連日収穫に汗を流した。

JAや県農業技術センターも同組合をサポート。栽培講習会や圃場（ほじょう）巡回を通じ、赤かび病の防除方法や追肥時期、収穫適期など欲を燃やしている。

小泉組合長は「今年も実入りの良い良質な小麦が収穫できた。今後は、秦野産小麦のブランド化も進めていきたい」と意欲を燃やしている。

父の日にバラを
農家が装飾 展示でPR

花台にバラを飾り付ける部員

感謝の気持ちをバラで伝えて―。花き部会バラ部は11日、秦野市役所の1階ロビーに部員が育てた色とりどりのバラを飾り付けた。「父の日」に向けて毎年実施しているもので、今年は15日まで展示し、多くの来庁者に秦野産のバラをPRした。

成田洋部長ら4人が、赤や黄、ピンクなど約100本のバラを使って2つの花台を装飾。花台の上には「ありがとうの気持ちを込め、父の日にバラを贈ろう」と書いた横断幕を掲げた。

装飾展示の横には、募金箱とチャリティー用のバラ600本を用意。集まった募金は同市社会福祉協議会に寄付し、地域福祉に役立ててもらう。

成田部長は「部員が丹精して育てた秦野産のバラを、父の日に贈ってもらえたらうれしい」と笑顔を見せた。

市長に新茶を贈呈
地場産PRへ試飲会も

部員から足柄茶を受け取る高橋市長

果樹部会茶業部は1日、秦野市役所で高橋昌和市長に足柄茶の新茶を贈った。守屋久夫部長ら役員5人が訪問し、日頃の支援に対する感謝を伝えるとともに、秦野産のPRを要望した。

守屋部長らは「山吹」一番茶の作柄や出荷量、日々の栽培管理などについて高橋市長と情報を共有した。

高橋市長は「茶は秦野市の特産品。今後も積極的に生産をバックアップしていきたい」と継続的な支援を約束した。

贈呈後には、市役所1階ロビーで新茶の試飲会を開催し、多くの市民に地場産茶をPR。来庁者からは「味に深みがある」「香りがとても良い」などと好評を博した。

守屋部長は「今年の茶も上々の出来。ぜひ多くの人においしい秦野の茶を味わってもらいたい」と笑顔で話した。

除草剤キャンペーン
7月4日（水）～13日（金）

特別価格で販売する除草剤

JAグリーンは農家を応援します

JAグリーンはだのは7月4日（水）～13日（金）、除草剤や散布時に使用するマスクなどの割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご購入ください。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81－7719

営農技術 ヒント・ポイント
協力　農業技術センター　0463-58-0333

普及指導部
- 果樹花き課　果樹（伊藤）　花き（藤平）
- 野菜課（吉岡）
- 作物加工課　作物（辻本）

果樹

かんきつの摘果について
▽温州ミカンの摘果

「大津4号」や「青島温州」などの高糖度系普通温州ミカンで主流の樹別隔年交互結実は、園内の樹を半数、または園ごとに分け、2年に一度交互に収穫を行います。摘果のタイミングは収穫の有無によって異なり、収穫する樹は9～10月に葉果比15～20程度に仕上げます。

その際、摘果するのは収穫時に3L以上になる極大果と2S以下の極小果で、9月10日ごろで60㍉以上と47㍉以下の果実が対象です。収穫しない樹は7月上旬までの、できるだけ早い時期に全摘果を行います。

早生ミカンは隔年結果性が弱いので、隔年交互結実よりも弱剪定（せんていと後期重点摘果を組み合わせて、連年着果を目指します。後期重点摘果では、最終的な葉果比17～20を目安に、粗摘果を8月上旬～下旬に、仕上げ摘果を9月上旬～下旬に行います。粗摘果よりも仕上げ摘果で多くの果実を摘果した方が、糖度が高くなるため、粗摘果では極小果を摘果するだけに抑え、仕上げ摘果で極大果などを摘果して目標の着果数にします。

参考までに、ターム水溶剤やフィガロン乳剤には摘果剤として温州ミカンに登録があります。生理落果時期に使用するため、今年は間に合いませんが、来年以降、検討ください。なお、摘果剤の散布にあたってはラベルの登録内容をよく確認し、必ず適用条件を守って使用してください。

▽中晩かんの摘果

粗摘果は生理落果終了直前（6月下旬～7月上旬）から開始し、仕上げ摘果を7月下旬までに行います。中晩かんは樹勢が低下しやすいため、かんきつ類の中でも最優先で作業を行います。粗摘果は樹の上部3分の1部分を全摘果し、その他、裾部分や光が当たりにくい樹冠内部を中心に摘果します。粗摘果で少なくとも全摘果量の8割程度を摘果し、仕上げ摘果で目標着果数まで調整します。最終的な着果数は品種によって異なり、1㌶当たり不知火12果、はるみ15果、湘南ゴールド20果です。

（伊藤）

受賞おめでとう！
日頃の成果を発揮

花き部会露地部は18日、市内圃場（ほじょう）を巡回して立毛共進会を開いた。

審査の結果は次の通り。

▽優秀賞＝柳川賢治（平沢）加藤宗雅（平沢）亀崎善太郎（小蓑毛）

▽優良賞＝青木剛一（平沢）山口雅司（平沢）栗原昭雄（平沢）青木清吉（平沢）今井洋司（横野）

▽佳良賞＝山口富治（横野）小島康浩（上大槻）安藤清吉（平沢）

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

滝見茶屋憂さのひとりでに消えて　森高　由子（渋　沢）
立葵少年風を連れ歩く　高島美和子（名古木）
茶器替えておもてなしへの夏に入る　吉田　清美（渋　沢）
蟇蛙どいて下さい利休下駄　菊池としえ（菩　提）
裾さばき粋ないで立ち絽が香る　志賀　明子（千　村）
せんだんの校の少子や若葉風　芦川　松江（八　沢）
戯るる近隣どの子も日焼け濃し　石原　松枝（渋　沢）
鷺草の風に向かって翔ぶ構え　酒井　紗恵（桜　町）
裏の木に鳥の来ているざくらんぼ　柴崎　和子（渋　沢）
島の分校太き幹して蘇鉄咲く　高橋　順子（大秦町）
月の夜の暗きに返す花十薬　柳川みち子（栄　町）
背筋よりおしゃれの匂う更衣　佐藤英美子（南矢名）
更衣して恋人の悩ましき　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

草萌ゆる尾瀬ヶ原ゆく木道に
若き歩荷の歩幅たくまし　細田　富士（千　村）

評　情景が的確に歌われております。原作（あゆみ逞し）は具体的に（歩幅）としました。

先んじてピンクの花弁を開き初めぬ
こぼれ種育ちし鳳仙花は　八木　実（鶴巻北）

評　原作（開きそむ）と結句（鳳仙花咲く）が重複する。よって添削しました。

なすトマト植えて防寒被覆せるを
外しぬ今年は十日も早く　伊東　久（渋　沢）

評　原作（防寒被覆して被覆外し）とくどい、標記のごとくにしました。

パッチワークのような新緑の輝きを
ファインダーに臨む今朝の阿夫利嶺　久保田　浩（寺　山）

いやいやと大泣きせし子いまはもう
母をせかして通園しており　石田こずゑ（水神町）

今月の理事会

6月22日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽経営情報の開示内容（ディスクロージャー）について
▽常勤役員の関連団体への役員就任について
▽第55回通常総会資料の字句修正について
▽第55回創立記念式の開催について
▽2018年度夏期および年末手当の支給について
▽2018年度賦課金の徴収について
▽2018年度信用供与等限度額の変更について
▽延滞債権等の処理方針について

職員人事

かっこ内は旧部署。
◎5月26日付退職
齋藤桂（総務課）

農機展示予約会を開催
8月3、4日 全農かながわで 相談会や講習会も

農業機械展示予約会が8月3日（金）、4日（土）にJA全農かながわ（平塚市田村）で開かれる。開会時間は両日とも午前9時～午後3時30分。

農業機械・資材メーカーが出店し、農業機械の展示や相談コーナーが設けられる他、「農作業安全やセルフメンテナンス」などをテーマにしたミニ講習会も開きます。

会場入り口には、JAグループ神奈川が生産資材価格低減策の一環として取りそろえるラインナップ「JAグループ神奈川推奨型式」の紹介コーナーを設置します。メーカーからの一括仕入れにより低価格設定を実現したトラクターなどが並びます。

4日には中古農機販売会が開かれます。入札受け付けは午前9時～同11時30分。正午から入札を発表します。

お気軽にご来場ください。

税務相談日	7月10日（火）午前9時30分～
法務相談日	7月20日（金）午後1時30分～
場所	本町支所

予約制ですので、事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。
受け付け・ご予約は㈱協同コンサルトはだの ☎81－2329

秦野の農家ご飯
キュウリの佃煮
西支部　小野福代さん

■材料■
キュウリ1㌔、塩10㌘、ショウガ10㌘、ちりめんじゃこ30㌘、刻み昆布5㌘、赤唐辛子1本、A（三温糖70㌘、しょうゆ70cc、5倍酢大さじ1、液体かつおだし5cc）

＜作り方＞
①キュウリをスライサーで薄切りにして塩を混ぜ、重石をして一晩置く。
②ショウガを千切りにする。
③①を700㌘以下の重さになるまで絞る。
④Aを煮立て、材料を全部入れて中火から強火で煮汁がなくなるまで煮る。

＜ひとことアドバイス＞
キュウリがたくさん取れる時期です。佃煮にすると保存が効く上に、夏に必要な塩分が取れるので夏バテ予防にもなりますよ。

家の光 今月の新刊
無水調理で驚き のレンピ革命！ ストウブはじめまして
大橋由香　著

食材の水分を利用し、少ない調味料と短時間でできるストウブの無水調理。うま味が凝縮される上に煮崩れもしないから仕上がりも美しい。初心者でもおいしく作れるよう、火加減などのプロセスも丁寧に紹介。

めける「5分レンピ」もたっぷり掲載。忙しい人にとくにお勧め。

定価1512円（税込み）

香り野菜が好き！ さっぱり、ピリッとクセになる！ おかずとおつまみ
堤　人美　著

ショウガやミョウガ、香菜など清涼感のある香り野菜をたっぷり使ったレシピ集。人気料理家の著者による、パンチがあるのにさっぱり、ピリッと癖になるおいしさのおかずは、ご飯にもちろん、お酒にも合う。

定価1512円（税込み）

農業のユメ育みます
JA農機ハウスローン
このチャンスに機械や車両、ハウスなど、欲しかった農機具を自分のものに！
応援1 軽トラックの購入にも！
応援2 大型農業機械の購入にも！
応援3 ソーラーパネルの設置にも！
応援4 ハウスの資材・建設費用にも！
応援5 小型農業機械の購入にも！
応援6 物置・倉庫の設置にも！
JAグループ神奈川応援プログラム
利子補給事業　最長10年 最大1.0%優遇
JAが取り扱う全ての農業資金（公庫資金を除く）について、最大1.0%（最長10年）の利子補給を行っています。
※商品にはそれぞれ下限利率があり貸付条件等によって補給率が異なります。
※延滞等が生じた場合、延滞した元金は利子補給対象外になります。
※「JA農機ハウスローン」については、全期間利子補給の対象となります。
保証料助成事業　保証料実質 0%
JAが取り扱う全ての農業資金において、県農業信用基金協会の保証が付された場合の一括前払い保証料を全額助成するもの。一度お支払いいただいた後、全額助成いたします。
※一括前払い以外の方法により支払われた保証料については、助成の対象となりません。
スピーディーな対応で、未来を笑顔に！　金利や貸付条件など、詳しくは各支所・支店または融資課まで　TEL.81-7713

休日ローン相談会
住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。
日時　6月30日、7月7日/14日/21日
※時間は午前9時～午後4時
場所　本町支所　ご来場の方に記念品を進呈　全日程土曜日開催！
ホームページより、事前予約と日程などの確認ができます。
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
各種ローンの相談は　融資課　0120-954-093

年金相談会
これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
日時・場所　7月5日（木）北支所
7月19日（木）東支所
ご来場の方に記念品を進呈
※時間は午前9時～午後4時まで　どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
事前予約をされると便利です
●年金受給手続きを相談される方は
信用課 TEL.81-7716　当日は 0120-954-092

交流深め観光満喫

伝統の染め物も体験

「バティック染め」に挑戦する部員

女性部は5～8の4日間、海外企画旅行で、マレーシアのジョホールバルとシンガポールを訪れた。部員39人が旅行を通して交流を深め、楽しいひとときを過ごした。

◇

部員らはジョホールバルの市内をバスで観光し、インドネシアの伝統手法でユネスコ無形文化遺産に登録されている「バティック染め」に挑戦した。シンガポールでは、マリーナベイ・サンズ屋上展望台から街を一望した後、ナイトサファリとディナーショーを堪能した。マーライオン公園で写真撮影をした他、アラブストリートなどで買い物を満喫した。

部員は「共通の思い出を作ることで親交が深まる。伝統文化にも触れられたので参加してよかった」と話した。

海外企画旅行

会場一体となって「ぴーなマン体操」を踊った

ぴーなマン体操お披露目

県内JA女性組織が交流会

女性部は12、13の両日、静岡県熱海市のニューウェルシティ湯河原で開かれた「いきいきレディース交流会」に出席した。県下13のJA女性組織が集まり、3カ年計画を実践するために各JAの課題報告とそれに対する意見を交換した。

交流会では、県下のJA女性組織の2017年度活動実施状況や18年度の計画を話し合った。「家の光」の記事を活用した活動も発表。JAはだのからは「ゴキブリ団子」や「ふるふる芳香剤」、毛糸を使った「ミニモップ」作りなどの五つを紹介した。

懇親会では、各JAが踊りなどの出し物を披露。JAはだのは、参加した5人がそろいのTシャツを着て「ぴーなマン体操」を披露し、活動をPRした。

酢で減塩・健康に

万能調味料 使い方学ぶ

大根・本町・東・北・西・上支部は20、21の両日に分かれ、本所で「酢の料理教室」を開いた。エーコープの酢を製造・販売する大興産業㈱から講師を招き、酢の効果的な活用法を学んだ。

講師は、減塩につながる酢の使い方や効果を説明。エーコープが販売する「らっきょう酢」や「五倍酢」を使ったちらし寿司やサラダ、スープなどの料理を教えた。部員はデザートを含め、酢を使った5品の料理を作りながら、酢が万能調味料として活用できることを確認した。

部員は「酢を使うことで塩の量が抑えられることを知った。さまざまな料理が学べてよかった」と話した。

レシピを確認しながら調理

いきいき女性部活動

戸川・横道・下庭 生活班班長 佐藤 道子（さとう みちこ）さん

私たちの班は、北地区の戸川に住む70～80代の9人です。班員のほとんどが地元の方で、班員同士やJAとのつながりが深く、女性部の行事に大変協力的で、私はいつも助けられています。

私たちの班に関わる年間行事は、他の班の方々と同じように、運動会、支部旅行、料理教室などです。普段出掛けることが少ない私にとって、女性部の一員となり、班員の皆さんといろいろな場所に出掛ける機会ができ、大きな喜びになっています。

昨年の行事の一番の思い出は、支部旅行で行ったサクランボ狩りで、班員のみなさんと楽しいひとときを過ごしたことです。

これからも、今までのつながりを大事に、年齢を超えたパワーと、いつまでも失わない遊び心で、元気に頑張っていきます。

支部だより

本町支部

エークック料理教室

本町支部は5月30日、本町支所でエークック料理教室を開いた。調理器具を使いこなして調理時間の短縮と料理のレパートリーを増やそうと、13人が参加した。

鍋メーカーのエークック㈱の担当者が、鍋やフードプロセッサーなど5種類の器具を使って調理を実演。おこわや煮物、パンケーキなど7品を完成させた。部員は、加熱時間や焼き具合を確認しながら鍋の性能を確かめた。

調理器具の性能を確認

南支部

芳香剤作り

南支部は11日、南支所で「ふるふる芳香剤」を作った。2017年7月号の『家の光』に掲載された記事を活用、15人が参加した。

芳香剤は、生鮮食品を買ったときなどに付く保冷剤に、水性絵具で作った色水と精油を加えて色と香りを付けたもの。部員は、色を層にしたビー玉やビーズを加えたり、鮮やかなオリジナルの一品を作り上げた。

部員は「簡単に作れる「孫の夏休みの宿題にできる」などと話した。

個性あふれる芳香剤が完成

大根・上支部

ゴキブリ団子作り

上支部は11日、大根支部は14日に、各支所でゴキブリ団子を作った。

ゴキブリ団子は、殺虫成分の中でも抵抗性がつきにくいホウ酸を使ったもの。

部員は、すりおろしたタマネギとホウ酸などの材料をよく混ぜ合わせ、卵のパックに入れた。できた団子は自宅に持ち帰り、1週間ほど天日干しして完成させる。

部員は「簡単に作れる上に効果が高いから重宝している」と話した。

タマネギをすりおろす部員

7月の女性部行事予定表

3日（火）	9：00～	球技大会（ボルケットボールの部）
4日（水）	13：30～	健康福祉大会
5日（木）	10：00～	球技大会反省会
〃	13：00～	本部役員会
10日（火）	13：30～	ＪＡ関東甲信越地区女性組織リーダー研修会（11日まで）
11日（水）	9：30～	たけのこ料理教室
12日（木）	10：00～	ままメートクラブ
19日（木）	7：30～	南支部「支部旅行」
〃	9：30～	たけのこ料理教室
20日（金）	14：00～	北支部「廃油石けん作り」
23日（月）	10：30～	女性部本部役員と女性理事との意見交換会
24日（火）	9：30～	東支部「手芸（バンダナポプリ）」
27日（金）	14：00～	乳がん・子宮がん健診（北・西・上）
28日（土）	15：00～	夏まつり（予備日29日）

告知板

第96回国際協同組合デー記念行事

毎年7月の第1土曜日は「国際協同組合デー」です。協同組合の躍進を願い、7月6日（金）に各支所・支店で「はだの丹沢梨サイダー」を無料配布します。ぜひご来店ください。

※各窓口来店者先着55人が対象です。

盆用品の注文はセレモニーホールへ

7月、8月とお盆を迎える組合員の皆さま、お盆の準備はいかがでしょうか。セレモニーホールでは、ちょうちんなどの盆用品を各種取り扱っています。本紙折り込みのちらしをご覧ください。電話でのご注文も承ります。お気軽にお問い合わせ下さい。☎83－2772

農産加工品相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

◎日時　7月18日（水）午前10時～午後4時

◎場所　本所農業団地センター2階　調理実習室

◎内容　午前は、県農業技術センターの職員による講義・実演。午後は、個別の相談をお受けします。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

囲碁将棋大会の参加者を募集

第24回組合員囲碁将棋大会を開催します。

◎日時　8月21日（火）午前9時30分から

◎場所　本所3階　ふれあいプラザ「虹の間」

◎参加対象者　JAはだの囲碁将棋同好会会員、組合員・その家族

◎参加費　1000円（昼食代）※学生は無料

◎申し込み方法　各支所・支店へ参加費をお支払いください

◎締め切り日　7月13日（金）

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

第39回ゲートボール大会

◎日時　9月25日（火）午前9時から　※雨天の場合は28日（金）

◎場所　なでしこ広場

◎出場資格　60歳以上の組合員とその家族、またはJAへ年金振り込みをしている方を4人以上含む7人以内のチームで市内在住者

◎申し込み方法　昨年出場チームの代表者には開催案内と申込書を送ります。新たに参加を希望するチームは、各支所・支店にある申込書に必要事項を記入してお申し込みください。

◎締め切り日　7月27日（金）

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

県産飲料消費拡大運動を実施中

安全・安心な県産飲料の消費拡大運動を実施しています。この機会にぜひお求めください。

▽JAみかん畑（ストレート果汁）100％1 95㌘×30缶　2300円

▽足柄茶リシール缶（ほうじ茶）465㌘×24缶　2200円

▽足柄茶リシール缶（緑茶）290㌘×24缶　2100円

▽足柄茶リシール缶（緑茶）490㌘×24缶　2200円

▽箱根山麓紅茶490㌘×24缶　2200円

▽梅の風290㌘×24缶　2200円

▽はだの丹沢梨サイダー245㌘×24本　4500円

▽はだの丹沢苺（いちご）サイダー245㌘×24本　4500円

お問い合わせは経済課まで。☎81－7717

小学生農業体験実習参加者募る

秦野市農業経営士会は、小学生農業体験学習の参加者を募集しています。

◎日程　8月6日（月）～10日（金）のうち1日帰り

◎対象者　市内の小学4～6年生30人

◎内容　茶、畜産、花、野菜、果樹などの農作業体験

◎参加費　無料（傷害保険料は実費）

◎説明会　7月25日（水）午後1時30分

◎申し込み方法　往復はがきにお子さまの氏名、性別、学校名、学年、保護者氏名、住所、電話番号、希望する日と第1から第3希望までの農作業を明記し、6月29日（金）までに、はだの都市農業支援センター（〒257－0015秦野市平沢477番地）へお申し込みください。

お問い合わせは同センターまで。☎81－7800

介護員と送迎ドライバーを募集

JAデイサービスセンターはだのでは、介護員と送迎ドライバーを募集しています。詳しくは、JAデイサービスセンターはだの（☎85－5177）までお問合せください。

この人

ジャガイモ収穫に協力

下大槻の原　宏さん

下大槻の原宏さんは12日、ひろはたこども園のジャガイモの収穫体験に協力した。年長園児27人に収穫のポイントなどを教え、作業をサポートした。

原さんは、園児の食農教育の一助になればと毎年協力。今年も3月に「男爵薯」の種芋を提供し、植え付けの指導や畑の管理などにも携わって近に感じる良い機会になれきた。「農地も減り、土に触れられる場所も少なくなっている。子どもたちが農業を身ば」と笑顔で話した。

校庭に人気キャラクター

東中学校

東中学校の校庭に人気キャラクターを模した木が登場し、地域で話題を呼んでいる。今年3月まで同校に在籍していた浅見秀明先生「生徒が困った時に力になってくれる先生でいてほしい」という願いが込められている。

先生たちに向けても「不安なときや困ったとき、寄り添って助けになってくれる先生がそばにいる」というメッセージが込められている。

また、先生方に力になってくれる先生でいてほしい」という願いが込められている。

この木は校舎に顔を向けて、生徒への「不安なとき

と協力して作成したもの。

隆男さんである。

じばさんず NEWS

【7月のイベント】

☆「ユースマルシェ」7日（土）
青年部員がエダマメやキュウリ、ジャガイモなどを対面販売します。

☆「七夕」7日（土）
南秦野保育園の園児が七夕の飾り付けをします。

☆「お盆フェア」14日（土）、15日（日）
秦野産の小菊などを多数ご用意します。

☆「国産豚の加工品」14日（土）、28日（土）
この日限りの特売品をご用意。試食すれば国産のおいしさを実感できますよ。

☆「産地JA応援販売」21日（土）、22日（日）
長野県のJA上伊那が担々麺を、岐阜県のJAめぐみのが明方ハム・フランクを販売します。

☆「乾物商品集合」21日（土）、22日（日）
乾物をはじめとした珍味の数々をご用意します。

☆「JAはだの夏まつり」28日（土）
人気のコロッケやメンチを販売します。

☆「梅干しの日」30日（月）
秦野産の梅干しを販売。試食も用意しますので、ぜひ食べ比べてみてください。

☆「試食の日」毎週火曜日
旬の野菜などを使った料理を紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「肉の日」毎週木曜日と毎月29日
店頭価格から5％引き。

☆「たまごの日」毎週月・金曜日
店頭価格から10％引き。
※一部商品を除く。

☆7月10日（火）は定休日です。

第30回 組合員ゴルフ大会

日程 9月11日（火）
場所 東京カントリー倶楽部
募集人数 160人（40組）
※定員になり次第締め切り
参加資格 組合員およびその家族
参加費 3000円
※別途プレー費が掛かります
※参加費は申込時にお支払いください
キャンセル料 2000円（9月4日から）
申し込み方法 6月28日（木）から各支所・支店で受け付け
お問い合わせは 生活福祉課（☎72-7661）まで

写真コンテスト 作品を募集!
農の魅力を伝えよう!
“ゆとり”“やすらぎ”“うるおい”を感じる秦野の農業の素晴らしさを表現した写真をお待ちしています。
応募締め切りは 10月19日（金）
第14回JAはだの「“農”の魅力」写真コンテストの募集要領・応募用紙は
各支所・支店・組織教育課へ